



# くら



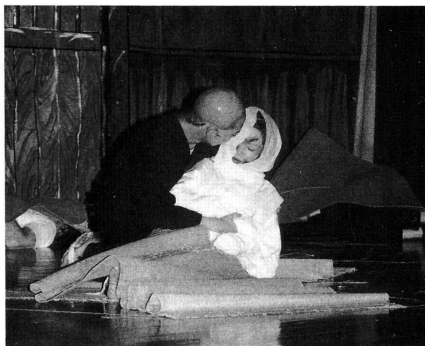
▲音響チェックも万全に



▲セリフの確認も忘れずに



▲休憩時間に栄養補給



▲本番でのクライマックスより



▲かつらを付けて和尚様に変身

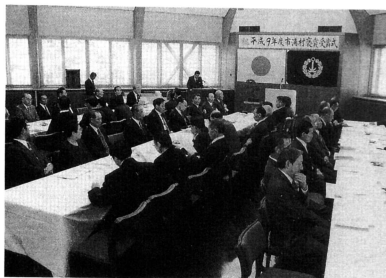
本番直前最後の練習

10月31日の夜、市浦村コミュニティセンターでは11月1日に発表される村民の舞台「白布の母」に向けて最後の練習が行われました。

本番を翌日に控えているとあって演劇サークル「阿蘇部族」のメンバーの表情は真剣。夜遅くまで練習は続けられていました。

平成9年度

# 市浦村褒賞受賞式



▲受賞者を代表して謝辞を述べる佐藤ヤイさん(左)

市浦村では、平成七年度に制定した「市浦村表彰条例」に基づき、公共の福祉増進に功勞のあった人や広く村民の模範となつた個人・団体を表彰しています。今年も文化の日にあたる十一月三日、あすなろホールで行われ、七名が表彰されました。

式典ではまず高松村長が、「郷土の発展や民生安定のため、その進びとすしに活躍されてきた皆さんに感謝します。現代は多くの問題を抱えており、これらで以上に皆さんの豊富な知識と経験が必要になります。今後も村政運営にあたって一層のご指導をお願いいたします」と式辞を述べ、受賞者へ長期間にわたる活躍に感謝と敬意を表すと同時に、改めて今後の村政への協力を依頼しました。

続いて高松村長が受賞者一人ひとりに褒賞を授与し、受賞者を代表して佐藤ヤイさんが「今後

日も感激を忘れることなく、今後も活動していきたい」と謝辞を述べました。受賞者は式典終了後に行われたパーティーでお互いこれまでの努力を讃えながら、今後のより一層の活動を誓い合っていました。



◀あいさつをする高松村長



松橋 よしゑさん  
(脇元地区)

昭和四十六年以来通算四期十六年余、市浦村十三財産区管理委員会委員としてまた、平成八年九月から管理委員会会長として財産区の公正な管理運営に尽力され、地方自治の振興に貢献されている。



豊島 正明さん  
(十三地区)

平成九年度  
受賞者  
(順不同)

昭和四十年から脇元婦人会に参加、昭和五十八年から平成元年まで会長。現在も婦人会活動を継続するとともに、会員の相談役、助言役に活躍している。この間、婦人会活動を通して健康づくり事業には積極的に協力し、村民の健康管理から健康受診勧奨等保健衛生思想の普及、高揚に貢献されている。(全国地区衛生組織連合会長表彰)



佐藤 ヤイさん  
(相内地区)

昭和三十四年から相内婦人会活動をし(昭和五十八年から会長となり現在に至る)。この間保健衛生協力委員や、食生活改善推進委員として積極的に健康づくり事業に参加、さらには社会福祉協議会理事、日赤奉仕団相内地区分団長として地域に貢献されている。全国地区衛生組織連合会長表彰)

秋田谷多喜郎さん  
(相内地区)



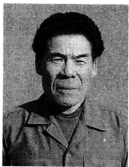
昭和四十四年以来二十八余年、金木地区交通安全協会市浦支部理事並びに副支部長また、昭和六十二年五月から市浦村交通安全協会副会長として、交通安全思想の普及、高揚に努め交通安全防止に尽力されている。

奈良 源悦さん  
(相内地区)



昭和三十八年以来三十四年余、金木地区交通安全協会市浦支部理事並びに副支部長また、昭和五十一年四月からは交通指導隊長等として交通安全思想の普及、高揚に努め交通事故防止に尽力されている。

田中 富士雄さん  
(太田地区)



昭和三十七年四月市浦村消防団を拝命し、以来三十五年間有事の際の消火活動及び防火、防災に努めまた、現在は団本部分団長として、永年の豊かな知識と経験を基に各分団の指揮及び団員の育成に尽力されている。

竹谷 博則さん  
(磯松地区)



昭和三十四年以來三十七年余、市浦村職員としてその職務に精励し、常に研鑽に努め、地方自治の振興に貢献されている。

## 市浦村表彰条例(抜粋)

### (目的)

第1条 この条例は、公共の福祉の増進に功勞のあったものまたは広く村民の模範となるべきものを表彰することを目的とする。

### (表彰の範囲)

第2条 表彰は、個人または団体が次の各号の1に該当するものに對して行う。

- 1 自己の危難をかえりみず人命を救助した者または火災、風水害、その他の災害に際し、著しく尽力し、若しくは治安の維持に著しく貢献したものの
- 2 徳行が特にすぐれた模範とするに足るものの
- 3 村民の名誉を著しく高揚したものの
- 4 永年にわたって業務に精励し、勤勞尊重の氣風を培い他の模範であるものの
- 5 永年にわたって地方自治の振興發展に寄与し、その功績が特にすぐれたものの
- 6 發明、發見、考案、または改良についてその功績が

特にすぐれたもの

- 7 教育、學術、藝術、および体育、文化の發展に寄与しその功績が特にすぐれたもの
- 8 社会の福祉、民生の安定に寄与しその功績が特にすぐれたもの
- 9 保健衛生の向上に寄与しその功績が特にすぐれたものの
- 10 産業、經濟、土木および交通等の振興發展に貢献しその功績が特にすぐれたもの
- 11 貯蓄、納税、消防および統計について著しく貢献しまたはすぐれた成績をあげたもの
- 12 前各号に掲げるもののほか功績顯著で特に表彰することを適當と認められるもの

### (表彰の期日)

#### 第5条

表彰は毎年11月3日に行う。但し、特別の理由により他の期日に表彰することが適當と認められる場合は、その都度行う。

# NEWS FLASH

## 収穫の喜びを実感

### 相内小学校が稲刈り体験学習

相内小学校(校長 秋田谷福道)では学校創立百二十周年記念行事として、十月十八日に稲刈り体験学習が行われました。

稲刈りが行われた相内地区バypass沿いにある約二アールの田は三和金春さんによる提供で「市浦村の基幹産業である農業をぜひ体験してもらいたい」との厚意により実現したものです。

稲刈りに挑戦したのは相内小学校の五、六年生。春には田植えも行われ、当日は待りに待つ鎌に「手を切らないように」と緊張しながらも稲を刈り取っている子どもたちは真剣そのもので、目は真剣そのもので、稲を手にすると笑顔を見せていました。また前日の大雨で田はぬかるみ状態となっており、それを足を取られて長靴が脱げ、足を泥だら



▲みんなで協力しあった収穫作業でした

けにする子どももいました。今回刈りとられたのはもち米で、約四十キロの収穫となりました。収穫されたもち米は十一月下旬に行われる「もちつき大会」で使用する予定で、子どもたちは「自分たちが育てたお米で作った餅を食べてみたい」と目を輝かせていました。

## 近

### 隣市町村の特産品が集合

#### 第二回北地方「特産市」

北地方グリーン・ツーリズム推進協議会主催による第二回北地方「特産市」が十月二十六日、トイサムグリーンパーク内、道の駅「十湖高原」で開催されました。

「物の豊かさ」より「心の豊かさ」を重視する現在、そんな価値観の変化を反映して緑豊かな農山漁村で、自然・文化・人々と交流を楽しむ滞在型観光活動としてグリーンツーリズムが提唱されています。今回の「特産市」は同協議会がグリーンツーリズムに対する取り組みの一つである「地域ブランドの確立」を目的として昨年より開催されているもので、今年は市浦村が会場となりました。

当日は雨と冷たい風が吹く天



▲市浦村からの出店もありました

候で客足は鈍かったものの、遠くは青森や弘前から特産品を求めて来場した方もいました。

出店したのは市浦村を初め、小泊村・中里町・金木町・五所川原市・鶴田町・板柳町の七市町村。当村ではトマト・ネギ・しじみ貝・しじみ加工食品・市浦牛などの販売が行われ、売り手と買い手の中で値引き交渉が行われる場面もありました。

「特産市」の出店とは別に、トイサムプラザ内で今年の夏から発売した「市浦牛乳入りソフトクリーム」が好調で、多くの方が買い求めています。寒くなった現在でも休日是一日に約百



▲市浦牛乳入りソフトクリームが好評です

## 火

### 防災は一人ひとりの心がけから

#### 秋の火災予防運動

火災が発生しやすい気候となる時期に火災予防思想の普及強化を図ることに、市浦村の消防団、相内婦人防火クラブ、太田小学校少年消防クラブ、相内



▲秋の火災予防パレードより

火災が発生しやすい気候となる時期に火災予防思想の普及強化を図ることに、市浦村の消防団、相内婦人防火クラブ、太田小学校少年消防クラブ、相内



▲藤田時江子さん(右)と山田民子さん(左)

保育所幼年消防クラブの五団体が参加。一日消防署長を藤田時江子さん(磯松)、一日消防団長を山田民子さん(相内)が務め、「つけた火は、ちゃんとしろまて、あなたの火」を統一標語に村内をパレードし、村民に日頃からの火災予防を呼びかけていました。

近年は火災を未然に防ぐ予防消防が叫ばれており、自分の家庭は自分で守る「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域住民の火災予防意識の高揚を図ることを目的に幼年・少年消防クラブ、婦人防火クラブが結成されました。これら消防関係団体と消防署、消防団が一体となり火災予防週間には地域をパレードするなどの活動が行われてきました。その結果住民の防火意識が高まり、現在市浦村では一年七ヶ月の無火災が続いています。

## 産 地間競争に打ち勝つため 第四回市浦村子牛品評会

市浦村では村内畜産農家の飼育意欲の高揚と、飼育管理技術の向上推進により優良な子牛の育成を目指したため、平成六年より子牛品評会を開催しています。今年で四回目となる「市浦村子牛品評会」は十月二十三日(実取肉用)牛育成センターで行われ、今年は二十四頭が参加しました。審査の結果、今年のチャンピオンに輝いたのは相沢浩二さん(磯松)の「まさひろ2号」で、肩・背・腰髓の肉付きが良く、全体的に締まっている点が高く評価された結果となりました。

審査結果発表後行われた審査委員による講評は次のようになっていました。

一年を追うごとに子牛の育成は改善が進んでおり、今年が最も良かった年だと思います。しかし市浦村の人工受精率が約四十%に対し、県全体の平均は八十%以上と市浦村はかなり低い結果となっている。このことが市浦管内における子牛の価格が県平均より下回っていることにつながっている。



▲チャンピオンに輝いた「まさひろ2号」。

受精の子牛が高い評価を得ていることから改めて人工受精の導入を検討していただきたい。市浦村の畜産農家は育成技術などにおいて優れたものを持っているのでみなさんの努力によって、再び市浦村の名を全国に轟かせてほしい。

また来年は県の家畜市場統合の流れを受けて木造の家畜市場が廃止となり、新設される七戸家畜市場へ統合されることになりました。そのためこれまで以上に高い買値が求められるようになり、畜産農家は今後さらに激化する産地間競争へ向けて正念場を迎えることとなります。



## 産業まつり盛大に終わる 賑わう会場に長蛇の列が

所の協力を得て行われたサケのつかみどりは、五十尾ずつ二回に分け、簡易プールに放りながらサケをびしりれに置きながら追ひ回し、多い子どもは五尾つかみあげるなど、観客からは大きな歓声がわいていました。この他にもよこいソーラン踊りや、輪投げ大会、ビンゴゲームなどさまざまな催しが行われ、会場に訪れたお客さんは大きな買い物袋を手に家路につけていました。

第十六回産業まつりが十月五日、役場前広場で盛大に開催され、町内外から約三千四百人が押しかけ地場産の牛肉や野菜、シイタケなどの農水産物をはじめ、衣料、日用雑貨、暖房器具などを商う三十五のテントが賑わいを見せました。

午前十時の開店前から出血サービスの大音が飛び交い、朝早くから詰めかけていた大勢のお客さんが、これぞと思う目当ての商品をこぞ買って買求めていました。

特に人気があったのは、恒例のタマゴ、生シイタケ、白砂糖のタイムバーゲンで、本部テント前には長い列ができていました。

毎年友好町村の青森県市浦村から数々の特産品が展示され、なかでも十三湖特産のヤマトシジミは数時間で完売する盛況ぶりでした。

ひやま漁業協同組合上ノ国支



▲大人気！サケのつかみ取り

友好町村だより 18  
かみのくに  
情報ランド

— 地方新時代の行政サービスとは —

欧州の行政に学ぶもの③

村長 高松 隆三

中世の面影残す  
ローテンブルク

福祉の先進国、オスロで福祉

の将来に不安を感じた私どもは、夢と現実が同じ次元で同居しているといわれるドイツへと向かった。ドイツは私にとっては初めての訪問国であるのでいろいろ興味があった。

本場のビールの味、ロマンチック街道や古城街道、それに再統一から七年目を迎えた国内情勢、またナチやヒトラーは別としてもかつての三国同盟の仲間だといふ親近感もあった。ゲーテも愛したというネッカイ川沿いに開ける学園都市ハイデルベルグで、「哲学の道」を散策し、廃墟と化した古城など見学したあと、中



▲リンドマイヤ全国の副会長(中央)とミュンヘンの市民農園で

世の宝石と賞され、年間百万人もの観光客が訪れるという、ローテンブルグを経由して、ミュンヘンへとロマンチック街道を南下した。

ローテンブルグでは特に私の希望で、「人形とオモチャ博物館」をコースに入れてもらった。この博物館には約一千体の人形を始め、ママごと用品や小さなメリーゴラウンドなど夢を呼

ぶ展示が並び、人気を呼んでいるところであり、わが村でも来年統合保育所を建設する際、参考にしたいと考えたからである。

この博物館の近くには中世の道徳や刑法に関する展示、拷問の道具など集めた「中世犯罪博物館」や市庁舎などがあるが、市庁舎前のマルクト広場では夏休み旅行で立寄ったアメリカ・アリゾナ州の生徒による歓迎コンサートが開かれて居り大変賑わっていた。

またローテンブルグ市街を二・五kmにわたってグルリと囲んでいる城壁と、十五世紀のルネサンス様式でつくられた木組み模様の家並みなどが中世の面影を色濃く残して居り、ロマンチック街道最大の町であり、もっと時間をかけて見たかった。

市民農園は

低所得者に

農園は郊外にあるものばかり思っていたが、ドイツの農園は町の中心にある。私はミュンヘンの中にある、私どもは（市民農園）を訪ねた。

第二次世界大戦で空襲を受けたドイツの市民農園で雨露をしのぎ、そこでつくったジャガ

イモで飢えを免れたという歴史体験をして居り、その都府境の悪化や人間性の回復、空気の浄化などをはかためた、法律によってクラインガルテンの一定数の確保を各都市に義務づけて居り、都市計画の中ではこの農園を都市緑地とし位置づけ、花と緑の区画が整然と並んで、光景は壮麗であり、オトギの国のような感じさうけた。

一区画は約四〇〇㎡前後で、その区画の中に二〇㎡位のシャレたハウスを備えているが、このハウスでは休憩はできるが、電気、トイレをつけることもできず、寝泊りも禁止されている。この市民農園は一人ぐらしや収入の低い人、子どもの多い人などが借りることができるが、庭のない住宅（マンション）に住んでいる人も貸付対象にされている。

借りた土地の三分の一は主食や野菜を、三分の一は花や緑地に、残りの三分の一は建物や道路にするよう義務づけられている。また農園は宿泊が禁じられているので市民農園は自宅から歩いて二十分以内の所につくることが原則となって居り、ドイツ十六州で十万七千、ミュンヘン市で八千二百四十三の市民

農園があるとリンドマイヤさん(副会長)が説明してくれましたが、わが国の一坪オーナーや市民農園とは全くその性格を異にしている。

ミュンヘンでは現在この農園を借りたいという市民が、「二〇〇人も待機して居り新しい土地探しに努力しているが、緑には土地を買う金がないので、市の党の運動や農家から市が借りるなどの方策を考えているが、いま交渉中の農家は農業を止めれば一ha当り年六〇〇マルクから八〇〇マルクの補助金が出るのでも二十五年と長いので将来相続のからみもあり、住宅地に売ってしまおうか、市民農園として契約することが速っているようであり、思うようにいかないとい嘆いている。

農村の活性化には都市住民も応分の負担を

グリーンツーリズム、この頃よく耳にする言葉だが、これは名所、旧跡を親て歩くこれまでの旅行とは違つて一ヶ所に滞在しながらの土地でいろんな体験を楽しむことをグリーンツーリズムといつて居り、ドイツで

はルーラル・ツーリズム(田園での休暇)とか、アグリ・ツーリズム(農村での休暇)などといった。

ドイツのバイエルン州といえばグリーンツーリズム発祥の地であり、ドイツの南部に位置し、オーストリアやスイスと国境を接したアルプス山岳地帯にあり、酪農や畜産が盛んであるが、農業条件は決して恵まれているところではない。しかし国土や自然を保つためには農業も農家もなくすべきではないとの発想で州政府が「バイエルンの道」という画期的な農業振興政策と「農村で休暇を」という事業スローガンを掲げ、グリーンツーリズムを積極的な支援したと云われている。

これによらずと農村は単に都市住民の余暇空間としてはなく、また自然は農民だけのものでもない。国民全体の財産であり農村の活性化や景観保全をしていくためには都市住民も応分の努力をしなくてはならない。そういう認識をもつ必要があるとこの政策で提起している。私もその州のフィッシュバッハウという町を訪ねた。この町は人口



▲フィッシュバッハウ町のレストランで現地の若者と

五、三〇〇人で二二〇の集落が点在して居り、町議会の議員数が二十名とそれに町長の二十一名で構成し、議員報酬は一日四十マルク(日本円で二千九百二十円)、町長は五千マルクから六千マルクで助役は第一助役と第二助役と助役二人制で第一助役の報酬は町長の十分の一、第二助役は名譽職となつて居り、職員の数には四十名位だと云つて居る。

ヨーロッパでのグリーンツーリズムの受け入れ体制は農家民宿型が多く、これまでは親戚を泊めるような、いわば家族的な雰囲気をおおって居るが、最近

は室内にトイレやシャワーを備えたり、自炊のできるキッチン付きの部屋を貸し出すなど、量の拡大から質的転換の時にさしかつて居る。また宿泊者が家族だけで気ままな休暇を楽しみたいという要望と、農家の主婦の労働時間を短縮するため、B&B(ベッドとブレックファースト)・泊朝食付き)型のスタイルが増えている。

フィッシュバッハウでは一六〇戸の農家のうち、一三〇戸が民宿を営んで居り、一軒の農家で年間一五〇人位の宿泊者を目安に経営しているといつて居る。

町では観光に力を入れて居り、クアハウス、プール、テニスコート、ミニゴルフ、音楽を聴く施設などを整備し、夏は避暑や自然とのふれあい、夏はスキー、カールング、民俗芸能と滞在型の観光客が多く、世界五百ヶ所のコーヒーが飲めるのも自慢の一つであり、またシヨートンステイも相当数あり、見知らぬ客と出会うことも楽しみの一つだと町長は笑顔で答えていた。なおドイツの労働時間は週三十八、五時間か普通で金曜日は半日で、有給休暇が二〇日、それに年一回三〇日までの長期休



▲町議のマイエル・ホッパーさんが経営する民宿の前で

暇も取れる仕組みになっている。男性は六十五歳、女性は六十歳から年金生活に入り、年金の額は手取り給料の約七〇%位だとのこと、こうした制度があるからこそ家族で長期休暇も楽しめるのではないかと思つた。

## 欧州の交通事情

ドイツのアウトバーン(高速道路)では一般車両のスピード制限はなく、バスは二〇キロトラックは八〇キロとなっているが追い越すトラックは一台もなく整然と八〇キロで走っているにはビックリした。

スイスでは山岳の崩落が相次いで居り、これは地球温暖化の

影響だと危機感を強めて居り信号待ちのエンジンストップは勿論のこと、クレーンやヒーターをつけるためのエンジンのカラふかしも禁止されて居り、ドライバーはキチンとドライバードウでしようか。

本県では十二月議会に吸い殺や空き缶のポイ捨てに罰金をかける条例を提案しようだが日本人のマナーの悪さ、民度の低さには反省させられることが多かった。

欧州旅行を三回にわたり旅行記風にまとめてご覧いただいたが、その地域に半日が、一日位しか滞在しないため真相を伝えるには迫力不足の感もあるが、しかし見事な国土と緑の保全、環境や景観の包み込み、それを誇りとする生活意識や歴史に受け継がれた重なる文化に胸をうたれるものがあつた。

どこへ行っても日本人の観光客が多く、また日本人はよく買い物というのもあったが、あの買物姿を見ていると多少マナーが悪くとも日本人にはまだ家族や同僚に土産を買おうというあたり、その気持が思いやうりであり、日本もまだまだ大丈夫だと思つた。

# 第十八回 あすを拓く ふるさとまつり

十一月一日から三日までの三日間、村民のための総合的な芸術文化の祭典である「ふるさとまつり」が村コミュニティセンターにて開催され、大勢の来場者で賑わいました。好評のうちに終了したふるさとまつりの様子を写真で紹介します。



▲もちつき大会



▲健康へのつどい



▲めぐ子学習発表会



▲陶芸品販売コーナー



▲バナナチョコの味はいかが？



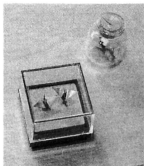
▲このダーツを当てればぬいぐるみは私のもの



▲大隅潔氏による文化講演会



▲金属製ミニ折り鶴を制作する豊島金吾さん



▲完成した金属製ミニ折り鶴



▲村民芸能発表会





## 市浦村の人口と世帯数 平成9.11.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,296	1,289	412
桂川	67	67	22
太田	283	283	88
脇元	539	538	197
蔵松	303	303	109
十三	796	788	247
計	3,284	3,268	1,075

## 自衛隊生徒募集のお知らせ

防衛庁では来年度の自衛隊生徒を募集しています。

## ▶受付期間

平成10年1月4日まで

## ▶応募資格

中学卒業（見込み含む）の方  
平成10年4月1日において15歳以上17歳未満の男子

## ▶試験日程

## ○1次試験

## 試験日

平成10年1月5日

## 会場

五所川原市中央公民館

## 試験科目

国語・社会・数学・理科・  
英語・作文

## ○2次試験

## 試験日

平成10年1月21日から25日  
の間の指定する1日

## ▶お問い合わせ先

自衛隊青森地方連絡部五所川原  
募集事務所もしくは役場総務課ま  
で

## ▶電話番号

35-2305（五所川原募集事務所）  
62-2111（役場総務課）

## 消費税(法人)の確定申告

改正後の消費税法と新たに創設された地方消費税が平成9年4月1日から適用されました。

## 【消費税率の引上げ】

平成9年4月1日以後の取引に課税される消費税の税率が4%とされ、新たに創設された地方消費税1%と合わせた税率は5%となりました。

このため、確定申告書の作成に当たっては、課税売上げ、課税仕入れ等について、3%の税率が適用されているものと、5%の税率が適用されているものとに区分しておく必要があります。

## 【消費税と地方消費税の

## 同時申告・納付】

地方消費税の申告・納付は消費税と併せて行うこととされ、一枚の申告書により税務署長に申告し、また、一枚の納付書により消費税と地方消費税を国に納付することとなります。

## ▶お問い合わせ先

五所川原税務署総務課

## ▶電話番号

34-3136

## 年金を受けている方が亡くなったとき

年金を受けている方が亡くなったとき、遺族の方は「年金受給権

者死亡届」を提出しなければなりません。

年金の支給を受けられるのは、死亡した月の分までです。年金は年6回、自動的に受給者の指定した預金口座に振り込まれたり、郵便局などに送金されたりする仕組みになっています。「死亡届」の提出が遅れると、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますので、ご注意ください。

「死亡届」には「年金証書」のほか、死亡診断書など死亡の事実を明らかにできる書類を添えてください。

亡くなった方が受け取れるはずであった年金が残っているときは、遺族が請求することができます。未支給分の年金を受け取ることができるのは①配偶者②子③父母④孫⑤祖父母または兄弟姉妹で、順位もこのとおりです。ただし、年金を受けていた方と生計を同じくしていた方であることが条件ですので、そのことが証明できる書類と戸籍謄本を添えて、「未支給年金・保険給付請求書」を役場または社会保険事務所に提出してください。

## ▶お問い合わせ先

役場住民福祉課

## ▶電話番号

62-2111

## お詫びと訂正

広報しららにおいて氏名の誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

9月号12ページ

「坂井 晴」さん

⇒「坂井 晴」さん

10月号3ページ

「成田 ●よ」さん

⇒「成田 ぶよ」さん

10月号4ページ

「林田谷 兼人」さん

⇒「林田谷 兼仁」さん

今月の「安葬物語」は休ませていただきます。

## 県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	10月		累計		死者のうち	高年齢者の死者	
	発生	死亡	発生	死亡		飲酒運転による死者	シートベルト着用義務者(着けていなかった人)
発生	796 (757)	13 (10)	6,751 (6,777)	97 (113)	36 (36)	15 (31)	54 (64)
死者	13 (10)	932 (895)	117 (8,221)	19 (8,221)	38 (49)	19 (22)	
死者のうち							
高年齢者の死者							
飲酒運転による死者							
着用義務者(着けていなかった人)							
シートベルト着用義務者(着けていなかった人)							
着用義務者(着けていなかった人)							
着用義務者(着けていなかった人)							

( )内は前年。累計は1月から。

◆ポスター部門◆



▶石岡 剛宗 (脇元小)

小学校二年生



▶藤田 英 (脇元小)



▲土岐香菜絵 (太田小)

小学校一年生



▶丸山 郁乃 (太田小)



▲奈良 彩末 (太田小)

小学校三年生



▲三上 香奈 (相内小)



▲奈良ひとみ (十三小)

小学校五年生

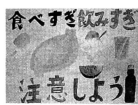


▶小寺 晶子 (十三小)



▶工藤美和子 (相内小)

小学校四年生



▲高田 恵 (十三小)



▲三和 千花 (相内小)

小学校六年生



▶村元 蘭美 (脇元小)

健康づくり作品展入選作品紹介

村民一人ひとりの健康に対する意識を高め、地域住民の健康づくりを推進するため毎年開催されている「健康づくり作品展」今年も村内小学校からポスター百九十点、中学生から標語百六点の応募が集まり、去る十一月一日から三日まで開催された「ふるさとまつり」で展示されました。今回はその中から入選作品をご紹介します。

◆標語部門(市浦中学校)◆

〈一年生の部〉

早起きは 朝一番の エネルギー

梶浦 裕季

食中毒 手洗ひすれば こわくない

鳴海わか奈

〈二年生の部〉

朝ごはん あなたの一日 ささえてる

三和 千洋

運動し ストレス解消 健康づくり

澤田 有紀

〈三年生の部〉

カルシウム とらなきゃ骨が スカスカじゃ

中野 周平

毎日の 努力で輝く きれいな歯

岡本 真代



山田 眞知代 (磯松)  
大村 要 (名川)  
三和 麗華 (相内)  
和田 崇弘 (脇元)  
周斗と弘 (脇元)  
昭彦 昭彦 (十三小)

▼お誕生

藤田 伸生 (磯松)  
藤田 真由美 (横浜)  
佐々木 タカ (太田)  
佐藤 力 (太田)  
山本 亜矢 (北海道)  
奈良 美 (太田)  
成田 美子 (太田)  
原 仁 (青森)  
豊島 雅樹 (相内)  
山田 樹 (相内)  
秋田 僚子 (相内)  
工藤 勝広 (相内)

▼おやみ

三橋 タヨ (十三小) 85歳  
木村 キクエ (太田) 74歳  
福井 リエ (十三小) 88歳  
豊島 キナ (十三小) 91歳